

三浦半島におけるヒメカマキリの採集記録

川島 逸郎

Itsuro Kawashima:

A record of *Acromantis japonica* Westwood, 1989 (Mantodea, Hymenopodidae) from the Miura Peninsula, Kanagawa Prefecture

Abstract. An adult male of hymenopodid mantis *Acromantis japonica* Westwood, 1889 was collected from Hayama-machi, the northern Miura Peninsula by the present author. This is 3rd record of adult in Kanagawa Prefecture (cf. Enju & Hamaguchi, 2005; Ohba & Miura Peninsula Insect Research Club (eds.), 2005).

ヒメカマキリ科 Hymenopodidae に属するヒメカマキリ *Acromantis japonica* Westwood は、成虫の体長が 24 ~ 35mm 程度とかなり小型で、後脚腿節の先端寄りに浅い葉状片を生じることなどで特徴付けられる。国内でこの科に含まれる 2 種のうち、神奈川県には本種のみが知られているが、その記録は少なく、県内の記録をまとめた槐・浜口 (2004) による横浜市栄区の 3 例に加え、鎌倉市の 1 例 (大場・三浦半島昆虫研究会 編, 2005) が知られているにすぎない。今回、筆者は三浦半島北部において成虫 1 ♂を採集することができたので、ここに報告する。

採集記録

1 雄 (図 1), 神奈川県三浦郡葉山町堀内 (向原) (図 2), 2010 年 8 月 31 日, 川島逸郎採集・保管。

国道 134 号線に面したレストランのガラス外面に静止していたところを発見、採集した。県内では、卵のうの発見例に比べると成虫の記録は少なく、栄区で採集された卵のうから飼育された個体の 1 例 (槐・浜口, 2004) のほか、鎌倉市大町での 1 個体 (大場・三浦半島昆虫研究会 編, 2005) の 2 例が知られるのみである。後者の記録では性別は記されていないが、図示された標本写真からは、明らかに♀と判別される。

本種は強い趨光性を持ち、しばしば灯火にも飛来するため、この個体も前夜に室内の照明に誘引されたものと考えられる。本来は樹上性が強いために人目には触れにくく、県内における潜在的な分布状況に関しては詳らか

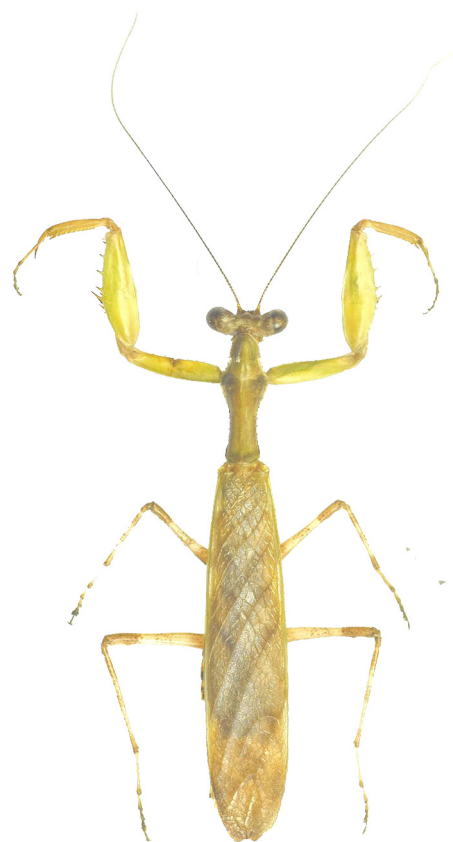


図 1. 葉山町産ヒメカマキリ♀成虫の標本。

ではないが、夜間に人工照明に留意することで、今後、県内の記録は増える可能性がある。また、筆者自身の静岡県における観察では、カマキリ目としては飛翔力が強いようで、時には、かなりの長時間（少なくとも3～4分間以上）にわたって、中空あるいは上空高くを巡回するように飛び廻ることがあるため、そうした状況にも注意する必要があるかもしれない。

調査・図版作成に際してご助力を頂いた、倉持卓司・倉持敦子の両氏（横須賀市）に厚くお礼申し上げます。

引用文献

- 梶 真史・浜口哲一, 2004. カマキリ目 Mantodea.
神奈川昆虫談話会 編, 神奈川昆虫誌 I, pp.199-203.
神奈川昆虫談話会, 小田原.
大場信義・三浦半島昆虫研究会 編, 2005. 三浦半島に
すむ昆虫からのメッセージー身近な自然 今昔ー.
116 pp. 横須賀市自然・人文博物館, 横須賀.

川島逸郎：日本蜻蛉学会



図2. 記録地の位置関係. ●：採集地点.